

講 義 概 要
Syllabus

令和7年度
(2025年度)

国際科
1年次

熊本外語専門学校

科目名	ビジネス英語 I	国際科	1年通年
講師	Ola Yasui	講義	水曜1限
実務経験のある教員等による指導		4単位 64時間	全31回
科目概要	授業の前の予習: ①各ユニットの知らない単語の予習して下さい。②特に学習必要な表現・語彙を覚えましょう、③ PERSONAL JOB FILE に書きましょう。授業の進め方: ①各ユニットで取り上げられているテーマについてbrainstormingを行います。②特に学習必要な表現・語彙を選び説明、リスニングなどで補足を行います③会話練習、リーディング、単語など、多面的な学習につなげます。		
到達目標	国際的に活躍できる人材となれるよう、英語力の向上を目指す。特に、「ホテル・観光業」で必要となる英語力を身に付ける。観光英語の知識を土台に、さらなるホテル、観光業界への知識を習得を目指す。基礎的な会話に加え、ホテルで想定されるより深い会話に対応できる力を身につける。		
授業計画			
1	授業のねらい、評価方法の説明、self-introduction activity,英語面接対策練習		
2	Unit 1 Introductions ホテル内各セクションについて (Page 8-)		
3	Unit 1 Introductions 自己紹介 (Page 10-)		
4	Unit 2 The check-in①チェックイン① (Page 12-)		
5	Unit 2 The check-in②チェックイン② (Page 14-)		
6	Unit 3 The hotel bedroom①客室内について① (Page 16-)		
7	Unit 3 The hotel bedroom②客室内について② (Page 18-)		
8	Unit4 Bathroom&porterベル係について① (Page 20-)		
9	Unit4 Bathroom&porterベル係について② (Page 22-)		
10	Unit5 Service in the hotel①ホテルサービスについて① (Page 24-)		
11	Unit5 Service in the hotel②ホテルサービスについて② (Page 26-)		
12	Unit6 Location of Facilities①館内案内① (Page 28-)		
13	復習 #1 / Revision #1 + Unit6 Location of Facilities②館内案内② (Page 30-)		
14	復習 #1 / Revision #1 + Unit6 Location of Facilities②館内案内② (Page 30-)		
15	定期試験FB		
16	Unit7 Room services ①ルームサービス① (Page 32-)		
17	Unit7 Room services ②ルームサービス② (Page 34-)		
18	Unit8 Problems and solutions①苦情対応処理①		
19	Unit8 Problems and solutions②苦情対応処理②		
20	Unit9 Taking bar orders ①バーでの会話① (Page 40-)		
21	Unit9 Taking bar orders ②バーでの会話② (Page 42-)		
22	Unit10 In the restaurant①レストランでの会話①		
23	Unit10 In the restaurant② レストランでの会話②		
24	Unit11 In the restaurant③レストランでの会話③		
25	Unit11 In the restaurant④ レストランでの会話④		
26	Unit 12 Places to visit ① 見どころ①		
27	Unit 12 Places to visit ② 見どころ②		
28	復習 #2 / Revision #2 + Unit 13 Enquiries ② お問い合わせ②		
29	定期試験FB		
30	Unit14 Using telephone①電話交換台係について①		
31	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもつて履修したものと認める。		
教科書名	Be My Guest English for the hotel industry CAMBRIDGE UNIVERSITY PRESS		

科目名	ビジネス英語 I	国際科	1年通年
講師	Shirin Khakpour	講義	水曜 2限
実務経験のある教員等による指導		4単位 64時間	全31回
科目概要	This course is designed to build foundational English listening and speaking skills using the *Skillful Foundation: Listening and Speaking* textbook. Through engaging topics such as daily routines, food, travel, and hobbies, students will develop essential vocabulary, improve pronunciation, and practice real-life communication. Each unit includes focused listening tasks to identify main ideas and details, as well as structured speaking activities to build fluency and confidence. By the end of the course, students will be able to understand basic spoken English in everyday situations and express themselves clearly using simple sentences and common expressions.		
到達目標	This course builds students' basic listening and speaking skills using the *Skillful Foundation* textbook, helping them understand everyday English and speak with confidence.		
授業計画			
1	self introduction and warm up		
2	Unit 1 (P 8 - 11)		
3	Unit 1 (P 12 - 15)		
4	Unit 1 (P 16 - 19)		
5	Unit 1 (P 19 - 24)		
6	Unit 1 and 2 (p 25 - 28)		
7	Unit 2 (P 29 - 31)		
8	Unit 2 (P 32 - 37) + Unit 1 review test		
9	Unit 2 (P 38 - 41)		
10	Unit 2 and 3 (P 42 - 46)		
11	Unit 3 (P 47 - 52)		
12	Unit 3 (P 53 - 58) + Unit 2 review test		
13	Unit 3 and 4 (P 59 - 64)		
14	Unit 4 (P 65 - 70)		
15	定期試験FB		
16	Unit 4 (P 71 - 76)		
17	Unit 4 and 5 (P 77 - 82)		
18	Unit 5 (P 83 - 88) + Unit 4 review test		
19	Unit 5 (P 89 - 93)		
20	Unit 5 and 6 (P 94 - 99)		
21	Unit 6 (P 100 - 105) + Unit 5 review test		
22	Unit 6 (P 106 - 111)		
23	Unit 6 and 7 (P 112 - 117)		
24	Unit 7 (P 118 - 123) + Unit 6 review test		
25	Unit 7 (P 124 - 129)		
26	Unit 7 and 8 (P 130 - 135)		
27	Unit 8 (P 136 - 141) + Unit 7 review test		
28	Unit 8 (P 142 - 147)		
29	定期試験FB		
30	Unit 8 (P 148 - 151)		
31	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々的小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	Skillful Foundation; Listening and Speaking; MacMillan Education		

科目名	基礎英語	国際科	1年通年
講師	石川 貴美子	講義	水曜4限
実務経験のある教員等による指導		2単位 32時間	全31回
科目概要	英語の基礎力となる文法の基礎知識を初歩からしっかりと固める。		
到達目標	文法を学習する際、テキストには基本の英文が音声で聞けるので、「聞く」「話す」「書く」力まで、広げて英語の基礎力をつける。		
授業計画			
1	自己紹介		
2	Be 動詞		
3	一般動詞		
4	Be 動詞・一般動詞の疑問文・否定文の作り方		
5	Unit1とUnit2の英文例を覚える。 関連の問題演習		
6	Unit3 疑問詞 を使った表現 文構造の学習		
7	Unit4 過去形 Be 動詞と一般動詞・進行形の過去の表現		
8	Unit5 未来形		
9	Unit6 現在完了 完了・結果		
10	現在完了 経験・継続		
11	Unit1からUnit6までの時制の復習		
12	中間テスト 時制範囲		
13	授業or課題		
14	授業or課題		
15	定期試験FB		
16	Unit7 助動詞		
17	Unit8 名詞・冠詞		
18	可算名詞・不可算名詞 単数・複数 (日本語との違い)		
19	Unit9 受動態		
20	受動態の作り方の練習問題		
21	Unit10 前置詞 時間・空間の捉え方		
22	色々な前置詞		
23	Unit11 形容詞・副詞 品詞の違い		
24	Unit12 比較		
25	問題練習		
26	Unit13 不定詞・動名詞		
27	Unit14 接続詞・命令文		
28	問題演習		
29	定期試験FB		
30	Review		
31	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	総合力をみがく基礎英文法		

科目名	ビジネスマナーⅠ	国際科	1年通年
講師	岸 治枝	講義	木曜1限
実務経験のある教員等による指導		2単位 32時間	全31回
科目概要	日本で働く際に必要となる基本的なビジネスマナーを学ぶ。		
到達目標	仕事を円滑に進めるためのルールや礼儀作法、社内外で求められるコミュニケーションスキルを身につける。		
授業計画			
1	【オリエンテーション】ビジネスマナーって何？どうして勉強するの？		
2	【ビジネスコミュニケーション】1-2 上司・先輩との付き合い方		
3	【ビジネスコミュニケーション】1-3 同僚との付き合い方		
4	【ビジネスコミュニケーション】1-5 身だしなみ		
5	【ビジネスコミュニケーション】1-6 チームワーク		
6	【ビジネスコミュニケーション】1-7 配慮のある話し方		
7	【ビジネスのルール】2-1 時間厳守		
8	【ビジネスのルール】2-2 就業時間		
9	【ビジネスのルール】2-4 あいさつ		
10	【ビジネスのルール】2-5 お辞儀		
11	【ビジネスのルール】2-6 報告・連絡・相談		
12	【ビジネスのルール】2-7 情報管理		
13	【ビジネスのルール】2-8 ハラスメント		
14	【社内のマナー】3-1 話を聞くとき		
15	定期試験FB		
16	【社内のマナー】3-2 指示を受けるとき		
17	【社内のマナー】3-3 注意を受けたとき		
18	【社内のマナー】3-4 退社時のマナー		
19	【社内のマナー】3-7 食事のマナー		
20	【社外のマナー】4-1 ウチとソトの関係		
21	【社外のマナー】4-2 名刺の扱い方		
22	【社外のマナー】4-3 仕事に役立つ雑談		
23	【社外のマナー】4-4 場所ごとの席次		
24	【社外のマナー】4-5 案内と見送り		
25	【社外のマナー】4-6 訪問のマナー		
26	【ビジネスのスキル】5-1 敬語の使い方		
27	【ビジネスのスキル】5-2 話しことばと書きことば		
28	【ビジネスのスキル】5-7 電話を受けるとき		
29	定期試験FB		
30	【ビジネスのスキル】5-8 電話をかけるとき		
31	活動（電話のやり取り）		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	『留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール』（日本能率協会ビジネスマネジメントセンター）		

科目名	異文化コミュニケーションⅠ	国際科	1年通年
講師	鍋田 さゆり・上野 綾子	講義	月曜2限
実務経験のある教員等による指導		2単位 32時間	全28回
科目概要	異文化理解の基礎／コミュニケーション理論／実践的スキルの育成		
到達目標	異文化への理解を深め、柔軟で効果的なコミュニケーション能力を養う。		
授業計画			
1	オリエンテーション・自己紹介		
2	日本の食文化を知る①		
3	日本の食文化を知る②		
4	日本の食文化を知る③		
5	和菓子制作を体験する		
6	自国の食文化を説明する①		
7	自国の食文化を説明する②		
8	日本の風習を知る①		
9	みそ玉制作を体験する		
10	日本の風習を知る②		
11	日本の風習を知る③		
12	水引制作を体験する		
13	スピーチ		
14	まとめ・テスト対策		
15	定期試験FB		
16	茶道を体験する		
17	日本の風習を知る④		
18	日本の風習を知る⑤		
19	いきなり団子制作を体験する		
20	自国の風習・文化を説明する①		
21	自国の風習・文化を説明する②		
22	自国の風習・文化を説明する③		
23	スピーチ		
24	クリスマスケーキ制作を体験する		
25	まとめ・テスト対策		
26	定期試験FB		
27	まとめ		
28	まとめ		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	『日本のことを1分間英語で話してみる』（KADOKAWA）		

科目名	キャリアデザインⅠ	国際科	1年通年
講師	上野 綾子	講義	火曜6限
実務経験のある教員等による指導		2単位 32時間	全30回
科目概要	自分自身と向き合い、「どのような人生を送るのか」計画を立て、将来の方向性を明確にする。進路に応じた個別指導を行う。		
到達目標	将来の方向性を明確にすることを目標とする。		
授業計画			
1	「1 自己分析をしよう！」 Step 1 「学生時代に力を入れたこと」		
2	「1 自己分析をしよう！」 Step 2 「長所と短所」		
3	「1 自己分析をしよう！」 Step 3 「日本へ興味を持ったきっかけ」		
4	就職活動の流れ		
5	個別面談 将来について 自己分析 自分史		
6	個別面談 将来について 自己分析 これからのわたし		
7	個別面談 将来について 自己分析 復習		
8	ヤングハローワークの方来校 面談 履歴書の書き方		
9	ヤングハローワークの方来校 面談 履歴書の書き方		
10	ヤングハローワークの方来校 面談 履歴書の書き方		
11	履歴書の書き方		
12	履歴書の書き方		
13	履歴書の書き方		
14	定期試験FB		
15	自己PR		
16	自己PR		
17	自己PR		
18	自己PR		
19	面接練習		
20	面接練習		
21	ヤングハローワークの方来校 個別面談		
22	ヤングハローワークの方来校 個別面談		
23	ヤングハローワークの方来校 個別面談		
24	ヤングハローワークの方来校 個別面談		
25	面接練習 復習		
26	自分の将来について再度考える life plan作成		
27	総復習		
28	定期試験FB		
29	活動		
30	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	<p>『解いて学ぼう 留学生の就職活動』（株式会社スリーエーネットワーク）</p> <p>『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力 日本で働くための「4つの能力」養成ワークブック』（国書刊行会）</p>		

科目名	プレゼンテーション I	国際科	1年通年
講師	鞆農 美智子	講義	金曜6限
実務経験のある教員等による指導		2単位 32時間	全30回
科目概要	プレゼンテーションの基本を学び、作業計画を立て、原稿作成にともなう日本語学習、PC操作方法など基礎的な学習をする。		
到達目標	テーマを決め、自分の伝えたいことを日本語で原稿にして、パソコンでスライドを作成し、スライドを見せながら発表することができる。		
授業計画			
1	プレゼンテーションとは（説明、自己紹介についての語彙導入）		
2	自己紹介の原稿作成（所要時間1分程度の原稿）、個人練習		
3	スピーチの評価シート配付、発声練習、自己紹介練習（ペアでスピーチの練習、FB）		
4	スピーチ発表（自己紹介）、みんなで評価する、感想を述べる		
5	原稿作成		
6	原稿作成		
7	原稿作成		
8	スライド作成		
9	スライド作成		
10	スライド作成		
11	スライド作成		
12	発表練習（時間測定）		
13	発表練習（スライド修正、内容修正）		
14	発表練習 評価項目について（教師評価、発表者以外の評価、自己評価）		
15	定期試験FB		
16	個人発表 テーマ決め、計画		
17	個人発表 テーマ、計画のチェック（ピア活動）		
18	個人発表 計画の修正		
19	個人発表 原稿作成		
20	個人発表 原稿チェック（ピア活動）		
21	個人発表 スライド作成		
22	個人発表 スライド作成		
23	個人発表 発表練習（時間測定、学生間で互いに計測とFB）		
24	個人発表 発表練習（前で数人発表→FB→個人練習）		
25	個人発表 発表練習（前で数人発表→FB→個人練習）		
26	個人発表 発表練習（前で数人発表→FB→個人練習）		
27	個人発表 発表		
28	個人発表 発表		
29	定期試験FB		
30	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	—		

科目名	PCスキル I	国際科	1年通年
講師	恒松 宏美	講義	月曜4限
実務経験のある教員等による指導	職業訓練校で社会人求職者を対象に主にWord、Excelの実技指導した経験を活かして、初心者から経験者まで受講者のレベルに合わせた指導と個別指導を徹底する。	4単位 64時間	全28回
科目概要	1年次では、基本的なコンピューターの使い方を学ぶ。まずは、日本語でコンピューターを入力することに慣れ、日本語を用いてWord、Excel、Power Pointの作業ができるようになることを目標とする。		
到達目標	Windowsでは、基本操作ができるようになる。Wordでは、入力、文書作成、表の作成、デザイン文書が作成できるようになる。Power Pointでは、プレゼンテーションの作成、編集、発表までの資料作成ができるようになる。		
授業計画			
1	Windows起動・基本操作・Windows終了・キーボード名称		
2	(Word) Wordの概要・Wordを起動する・Wordの画面構成・Wordを終了する		
3	作成する文書を確認する・新しい文書を作成する		
4	文章を入力する		
5	文字を削除する・挿入する		
6	文字をコピーする・移動する		
7	文章の体裁を整える		
8	文章を印刷する・文章を保存する		
9	作成する文書を確認する・ワードアートを挿入する		
10	画像を挿入する・文字の効果を設定する・ページ罫線を設定する		
11	作成する文書を確認する・表を作成する・表のレイアウトを変更する		
12	表に書式を設定する・段落罫線を設定する・前期復習		
13	課題		
14	課題		
15	定期試験FB		
16	(PowerPint) PowerPintの起動・PowerPintを起動する・PowerPintの画面構成		
17	作成するプレゼンテーションを確認する		
18	新しいプレゼンテーションを作成する・テーマを適用する		
19	ブレースホルダーを操作する		
20	新しいスライドを挿入する・図形を作成する		
21	SmartArtグラフィックを作成する		
22	スライドショーを実行する		
23	画面切り替え効果を設定する		
24	アニメーションを設定する		
25	プレゼンテーションを印刷する		
26	後期復習		
27	定期試験FB		
28	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	『よくわかる Microsoft Word 2016 & Microsoft Excel 2016 & Microsoft PowerPoint 2016 <改訂版>』（FOM出版）		

科目名	PCスキル I	国際科	1年通年
講師	恒松 宏美	講義	月曜5限
実務経験のある教員等による指導	職業訓練校で社会人求職者を対象に主にWord、Excelの実技指導した経験を活かして、初心者から経験者まで受講者のレベルに合わせた指導と個別指導を徹底する。	4単位 64時間	全28回
科目概要	日本情報処理検定受験対策を目的とした授業で、過去問題を解きながら、Word、Excel、PowewPointのスキルアップを目指します。		
到達目標	各科目で2級合格を目標とし、就職活動に活かせるパソコンスキルを修得します。		
授業計画			
1	文章入力スピード検定オリエンテーション		
2	タイピング（ひらがな入力・英語入力・カタカナ入力・ファンクションキー）		
3	タイピング（単語・文節入力・数字・全角・半角入力・テンキー）		
4	就職に役立つ検定紹介（日本情報処理検定案内）		
5	タイピング（記号入力、IMEパット）		
6	タイピング（再変換、文節の区切り変更）		
7	タイピング（変換ポイント、カーソル移動）		
8	文書デザイン検定3級		
9	文書デザイン検定3級		
10	文書デザイン検定3級		
11	文書デザイン検定3級		
12	前期復習		
13	課題		
14	課題		
15	定期試験FB		
16	プレゼンテーション4級		
17	プレゼンテーション4級		
18	プレゼンテーション4級		
19	プレゼンテーション3級		
20	プレゼンテーション3級		
21	プレゼンテーション3級		
22	プレゼンテーション2級		
23	プレゼンテーション2級		
24	プレゼンテーション2級		
25	後期復習		
26	定期試験FB		
27	就職に役立つ検定紹介（日本情報処理検定案内）		
28	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	プリント		

科目名	総合日本語	国際科	1年通年
講師	吉村 萌	講義	火曜1限
実務経験のある教員等による指導		8単位 128時間	全30回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。		
授業計画			
1	第1回		
2	第2回		
3	第3回+ニュース①		
4	第4回		
5	第5回		
6	第6回+ニュース②		
7	第7回		
8	第8回		
9	第9回+ニュース③		
10	第10回		
11	第11回		
12	第12回、復習		
13	定期試験FB		
14	いろいろな音声を聞いてみよう①		
15	第13回		
16	第14回+ニュース④		
17	第15回		
18	第16回		
19	第17回+ニュース⑤		
20	第18回		
21	第19回		
22	第20回+ニュース⑥		
23	第21回		
24	第22回		
25	第23回+ニュース⑦		
26	第24回、復習		
27	定期試験FB		
28	第25回		
29	いろいろな音声を聞いてみよう②		
30	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	『新・毎日の聞きとり50日・上』（凡人社）、『新・毎日の聞きとり50日・下』（凡人社）		

科目名	総合日本語	国際科	1年通年
講師	吉村 萌	講義	火曜3限
実務経験のある教員等による指導		8単位 128時間	全30回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。		
授業計画			
1	N1：「読む力[中級]」1-① N2：「必ずできる！」Step1ウォーミングアップ①、練習問題①		
2	N1：「読む力[中級]」1-② N2：「必ずできる！」Step1ウォーミングアップ②、練習問題②		
3	N1：「読む力[中級]」2-① N2：「必ずできる！」Step1ウォーミングアップ③、練習問題③		
4	N1：「読む力[中級]」2-② N2：「必ずできる！」Step2ウォーミングアップ①、練習問題④		
5	N1：「読む力[中級]」1・2まとめ N2：「必ずできる！」Step2ウォーミングアップ②、練習問題⑤		
6	N1：「読む力[中級]」3-① N2：「必ずできる！」Step3ウォーミングアップ①、練習問題⑥		
7	N1：「読む力[中級]」3-② N2：「読む力[初中級]」1-①		
8	N1：「読む力[中級]」4-① N2：「読む力[初中級]」1-②		
9	N1：「読む力[中級]」4-② N2：「読む力[初中級]」2-①		
10	N1：「読む力[中級]」3・4まとめ N2：「読む力[初中級]」2-②		
11	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」1-① N2：「読む力[初中級]」1・2まとめ		
12	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」1-②、復習 N2：「読む力[初中級]」エクササイズ1、復習		
13	定期試験FB		
14	いろいろな読みものを読もう①		
15	N1：「読む力[中級]」5-① N2：「読む力[初中級]」3-①		
16	N1：「読む力[中級]」5-② N2：「読む力[初中級]」3-②		
17	N1：「読む力[中級]」6-① N2：「読む力[初中級]」4-①		
18	N1：「読む力[中級]」6-② N2：「読む力[初中級]」4-②		
19	N1：「読む力[中級]」5・6まとめ N2：「読む力[初中級]」5-①		
20	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」2-① N2：「読む力[初中級]」5-②		
21	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」2-② N2：「読む力[初中級]」3～5まとめ		
22	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」3-① N2：「読解厳選テーマ10[中級]」1-①		
23	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」3-② N2：「読解厳選テーマ10[中級]」1-②		
24	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」4-① N2：「読解厳選テーマ10[中級]」2-①		
25	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」4-② N2：「読解厳選テーマ10[中級]」2-②		
26	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」4-③、復習 N2：「読む力[初中級]」エクササイズ2、復習		
27	定期試験FB		
28	いろいろな読みものを読もう②		
29	いろいろな読みものを読もう③		
30	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	<p>『読解厳選テーマ10[中上級]』（凡人社）、『読む力 中級』（くろしお出版）</p> <p>『読解厳選テーマ10[中級]』（凡人社）、『読む力 初中級』（くろしお出版）、『必ずできる！JLPT「読解」N2』（アルク）</p>		

科目名	総合日本語	国際科	1年通年
講師	木村 範子	講義	火曜3限
実務経験のある教員等による指導		8単位 128時間	全30回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。（火曜3限では、多様な話題を読み、文法知識や語彙の力を鍛え、文意を正しく理解する力を高める。）		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。		
授業計画			
1	必ずできる！JLPT「読解」N3 ウォーミングアップ①②		
2	必ずできる！JLPT「読解」N3 ウォーミングアップ③④⑤		
3	必ずできる！JLPT「読解」N3 ウォーミングアップ⑥⑦⑧		
4	必ずできる！JLPT「読解」N3 練習問題1, 2		
5	必ずできる！JLPT「読解」N3 練習問題3, 4		
6	必ずできる！JLPT「読解」N3 練習問題5, 6		
7	必ずできる！JLPT「読解」N3 練習問題7, 8		
8	必ずできる！JLPT「読解」N3 練習問題9, 10		
9	必ずできる！JLPT「読解」N3 練習問題13, 14, 15の問題1		
10	必ずできる！JLPT「読解」N3 読解模擬試験問題		
11	復習		
12	復習		
13	定期試験FB		
14	読解厳選テーマ25+10 初中級 1-01		
15	読解厳選テーマ25+10 初中級 1-02		
16	読解厳選テーマ25+10 初中級 1-03		
17	読解厳選テーマ25+10 初中級 1-04		
18	読解厳選テーマ25+10 初中級 1-05		
19	読解厳選テーマ25+10 初中級 1-06		
20	読解厳選テーマ25+10 初中級 1-07		
21	必ずできる！JLPT「読解」N3 練習問題11		
22	必ずできる！JLPT「読解」N3 練習問題12		
23	必ずできる！JLPT「読解」N3 読解模擬試験問題		
24	必ずできる！JLPT「読解」N3 練習問題13		
25	復習		
26	復習		
27	定期試験FB		
28	必ずできる！JLPT「読解」N3 練習問題14		
29	必ずできる！JLPT「読解」N3 練習問題15		
30	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	「必ずできる！JLPT『読解』N3」 「読解厳選テーマ25+10 初中級」		

科目名	総合日本語	国際科	1年通年
講師	吉村 萌	講義	木曜3限
実務経験のある教員等による指導		8単位 128時間	全31回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。		
授業計画			
1	第21課 重要な文型と表現①・②		
2	第21課 重要な文型と表現③・④		
3	第22課 重要な文型と表現①・④		
4	第22課 重要な文型と表現②・③		
5	復習		
6	第23課 重要な文型と表現①・②		
7	第23課 重要な文型と表現③・*		
8	第24課 重要な文型と表現①・②		
9	第24課 重要な文型と表現③・④		
10	復習		
11	第25課 重要な文型と表現①・②		
12	第25課 重要な文型と表現③・④		
13	第26課 重要な文型と表現①・②、復習		
14	試験前復習		
15	定期試験FB		
16	第26課 重要な文型と表現③・④		
17	第27課 重要な文型と表現①・④		
18	第27課 重要な文型と表現②・③		
19	第28課 重要な文型と表現①・②		
20	第28課 重要な文型と表現③・④		
21	復習		
22	第29課 重要な文型と表現①・③		
23	第29課 重要な文型と表現②・④		
24	第30課 重要な文型と表現①・④		
25	第30課 重要な文型と表現②・③		
26	第31課 重要な文型と表現①・②		
27	復習		
28	試験前復習		
29	定期試験FB		
30	活動		
31	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	『学ぼう！にほんご 中級』（専門教育出版）		

科目名	総合日本語	国際科	1年通年
講師	上野 綾子	講義	木曜3限
実務経験のある教員等による指導		8単位 128時間	全31回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。		
授業計画			
1	N1：第1課重要な文型と表現1、2	N3：第1課重要な文型と表現	
2	N1：第1課重要な文型と表現3	N3：第2課重要な文型と表現	
3	N1：第1課重要な文型と表現4	N3：第3課重要な文型と表現	
4	N1：第1課 問題集FB	N3：第1課～第3課 復習 問題集FB	
5	N1：第2課重要な文型と表現1、2	N3：第4課重要な文型と表現1、2	
6	N1：第2課重要な文型と表現3、4	N3：第4課重要な文型と表現3	
7	N1：第2課重要な文型と表現5	N3：第5課重要な文型と表現	
8	N1：第2課 問題集FB	N3：第6課重要な文型と表現1、3	
9	N1：第3課重要な文型と表現1、2	N3：第6課重要な文型と表現2	
10	N1：第3課重要な文型と表現3、4	N3：第4課～第6課 復習 問題集FB	
11	N1：第3課 問題集FB	N3：第7課重要な文型と表現	
12	N1：第4課重要な文型と表現1、2	N3：第8課重要な文型と表現1、2	
13	N1：第4課重要な文型と表現3、4	N3：第8課重要な文型と表現3	
14	前期の復習		
15	定期試験FB		
16	N1：第4課 問題集FB	N3：第9課重要な文型と表現	
17	N1：第5課重要な文型と表現1、2	N3：第7課～第9課 復習 問題集FB	
18	N1：第5課重要な文型と表現3、4	N3：第10課重要な文型と表現1、2	
19	N1：第5課重要な文型と表現5	N3：第10課重要な文型と表現3、4	
20	N1：第5課 問題集FB	N3：第11課重要な文型と表現1、2	
21	N1：第6課重要な文型と表現1、2	N3：第11課重要な文型と表現3	
22	N1：第6課重要な文型と表現3、4	N3：第12課重要な文型と表現	
23	N1：第6課 問題集FB	N3：第10課～第12課 復習 問題集FB	
24	N1：第7課重要な文型と表現1、2	N3：第13課重要な文型と表現1、2	
25	N1：第7課重要な文型と表現3、4	N3：第13課重要な文型と表現3、4	
26	N1：第7課 問題集FB	N3：第14課重要な文型と表現1、2	
27	N1：文作練習	N3：第14課重要な文型と表現3、4	
28	後期の復習		
29	定期試験FB		
30	活動		
31	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	<p>N1『学ぼう！にほんご 中上級』</p> <p>N3『学ぼう！にほんご 初中級』（専門教育出版）</p>		

科目名	総合日本語	国際科	1年通年
講師	松本 真夕	講義	金曜2限
実務経験のある教員等による指導		8単位 128時間	全30回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。		
授業計画			
1	Chapter1 Section1家族		
2	Chapter1 Section1家族		
3	Chapter1 Section2友達		
4	Chapter1 Section2友達		
5	Chapter1 Section3知人・つきあい		
6	Chapter1 Section3知人・つきあい		
7	Chapter1 Section4恋人		
8	Chapter1 Section4恋人		
9	Chapter1 Section5関係悪化		
10	Chapter1 Section5関係悪化		
11	Chapter2 Section1住まい		
12	Chapter2 Section1住まい		
13	試験前復習		
14	定期試験FB		
15	Chapter2 Section2お金		
16	Chapter2 Section2お金		
17	Chapter2 Section3食事		
18	Chapter2 Section3食事		
19	Chapter2 Section4買い物		
20	Chapter2 Section4買い物		
21	Chapter2 Section5時を表す言葉		
22	Chapter2 Section5時を表す言葉		
23	Chapter3 Section1朝		
24	Chapter3 Section1朝		
25	Chapter3 Section2日課		
26	Chapter3 Section2日課		
27	試験前復習		
28	定期試験FB		
29	これまでの復習		
30	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	はじめての日本語能力試験N2単語2500		

科目名	総合日本語	国際科	1年通年
講師	永村 洋藤	講義	金曜2限
実務経験のある教員等による指導		8単位 128時間	全30回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。		
授業計画			
1	Chapter1 Section1		
2	Chapter1 Section1		
3	Chapter1 Section2		
4	Chapter1 Section2		
5	Chapter1 Section3		
6	Chapter1 Section3		
7	Chapter1 Section4		
8	Chapter1 Section4		
9	Chapter1 Section5		
10	Chapter1 Section5		
11	Chapter2 Section1		
12	Chapter2 Section1		
13	Chapter2 Section1迄の復習		
14	定期試験FB		
15	Chapter2 Section 2		
16	Chapter2 Section 2		
17	Chapter2 Section 3		
18	Chapter2 Section 3		
19	Chapter2 Section 4		
20	Chapter2 Section 4		
21	Chapter2 Section 5		
22	Chapter2 Section 5		
23	Chapter 3 Section 1		
24	Chapter 3 Section 1		
25	Chapter 3 Section 2		
26	Chapter 3 Section 2		
27	Chapter 3 Section 2 迄の復習		
28	定期試験FB		
29	Chapter 3 Section3		
30	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	はじめての日本語能力試験N1単語3000 初めての日本語能力試験N3単語2000		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	吉村 萌	講義	月曜1限
実務経験のある教員等による指導		12単位 192時間	全28回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	文字語彙①		
2	文字語彙②、聴解①		
3	文法①、聴解②		
4	JLPT模試①		
5	JLPT模試①FB		
6	文法②、聴解③		
7	JLPT模試②		
8	JLPT模試②FB		
9	読解①、聴解④		
10	JLPT模試③		
11	JLPT模試③FB		
12	読解②、聴解⑤		
13	読解③、復習		
14	定期試験FB		
15	文字・語彙③、文法③		
16	JLPT模試①		
17	JLPT模試①FB		
18	JLPT模試②		
19	JLPT模試②FB		
20	JLPT模試③		
21	JLPT模試③FB		
22	文法④、聴解⑥		
23	読解④、聴解⑦		
24	読解⑤、聴解⑧		
25	まとめ、復習		
26	定期試験FB		
27	弱点分野確認、振り返り		
28	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	『日本語能力試験対策これ一冊N3』（アスク出版）		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	鎌農 美智子	講義	月曜1限
実務経験のある教員等による指導		12単位 192時間	全28回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	漢字読みテスト、言葉を覚えよう1、例題と解き方～言語知識編～、第2週1日目		
2	漢字読みテスト、言葉を覚えよう1、例題と解き方～読解編～、第4週2日目		
3	漢字読みテスト、言葉を覚えよう1、例題と解き方～聴解編～、第12週1日目		
4	JLPT模試①		
5	JLPT模試①FB		
6	漢字読みテスト、小テスト、言葉を覚えよう1、第6週1日目		
7	JLPT模試②		
8	JLPT模試②FB		
9	漢字読みテスト、言葉を覚えよう1、第7週1日目		
10	JLPT模試③		
11	JLPT模試③FB		
12	漢字読みテスト、言葉を覚えよう1、小テスト、第8週1日目		
13	定期試験前復習		
14	定期試験FB		
15	漢字読みテスト、小テスト		
16	JLPT模試①		
17	JLPT模試①FB		
18	JLPT模試②		
19	JLPT模試②FB		
20	JLPT模試③		
21	JLPT模試③FB		
22	語彙テスト、第3週1日目、第5週2日目、第10週1日目		
23	文法テスト、第1週2日目、第9週2日目、第3週2日目		
24	読解テスト、第1週2日目、第9週2日目、第3週3日目		
25	聴解テスト、第1週2日目、第9週2日目、第3週4日目		
26	定期試験FB		
27	語形成、文章の文法、文の組み立て		
28	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	「JLPT N2 日本語能力試験ベスト総合問題集」 (the japan times)		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	上野 綾子	講義	月曜1限
実務経験のある教員等による指導		12単位 192時間	全28回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	文字・語彙 漢字の読み 文脈規定	聴解 課題理解	読解練習
2	文字・語彙 言い換え類義 用法	聴解 ポイント理解	読解練習
3	文法 文の文法1	聴解 概要理解	読解練習
4	JLPT模試①		
5	JLPT模試①FB		
6	文法 文の文法2 文章の文法	聴解 即時応答 統合理解	読解練習
7	JLPT模試②		
8	JLPT模試②FB		
9	読解 短文 中文		
10	JLPT模試③		
11	JLPT模試③FB		
12	読解 内容理解(長文) 統合理解		
13	読解 統合理解 主張理解 情報検索		
14	定期試験FB		
15	活動		
16	JLPT模試①		
17	JLPT模試①FB		
18	JLPT模試②		
19	JLPT模試②FB		
20	JLPT模試③		
21	JLPT模試③FB		
22	苦手克服		
23	苦手克服		
24	苦手克服		
25	苦手克服		
26	定期試験FB		
27	活動		
28	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動(取り組み、宿題などの提出物)を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100% (60%以上合格)</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	『日本語能力試験N1 予想問題集(改訂版)』(国書刊行会)		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	永村 洋藤	講義	月曜3限
実務経験のある教員等による指導		12単位 192時間	全28回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	とりあえず日本語能力試験対策N2 第1回		
2	とりあえず日本語能力試験対策N2 第1回		
3	とりあえず日本語能力試験対策N2 第2回		
4	とりあえず日本語能力試験対策N2 第2回		
5	とりあえず日本語能力試験対策N2 第3回		
6	とりあえず日本語能力試験対策N2 第3回		
7	とりあえず日本語能力試験対策N2 第4回		
8	とりあえず日本語能力試験対策N2 第4回		
9	とりあえず日本語能力試験対策N2 第5回		
10	とりあえず日本語能力試験対策N2 第5回		
11	第5回迄の復習		
12	第5回迄の復習		
13	第5回迄の復習		
14	定期試験FB		
15	とりあえず日本語能力試験対策N2 第6回		
16	とりあえず日本語能力試験対策N2 第6回		
17	とりあえず日本語能力試験対策N2 第7回		
18	とりあえず日本語能力試験対策N2 第7回		
19	とりあえず日本語能力試験対策N2 第8回		
20	とりあえず日本語能力試験対策N2 第8回		
21	とりあえず日本語能力試験対策N2 第9回		
22	とりあえず日本語能力試験対策N2 第9回		
23	とりあえず日本語能力試験対策N2 第10回		
24	とりあえず日本語能力試験対策N2 第10回		
25	第10回迄の復習		
26	定期試験FB		
27	第1～10回の復習		
28	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	とりあえず日本語能力試験対策 文法2		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	梅山 みどり	講義	月曜3限
実務経験のある教員等による指導		12単位 192時間	全30回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	N1 p16,17 p36,37 p66,67	N3 p16,17 p36,37 p74,75	
2	N1 p18,19 p38,39 p68,69	N3 p18,19 p38,39 p76,77	
3	N1 p20,21 p40,41 p70,71	N3 p20,21 p40,41 p78,79	
4	JLPT模試①		
5	JLPT模試①FB		
6	N1 p22,23 p42,43 p72,73	N3 p22,23 p42,43 p80,81	
7	JLPT模試②		
8	JLPT模試②FB		
9	N1 p24,25 p44,45 p74,75	N3 p24,25 p44,45 p82,83	
10	JLPT模試③		
11	JLPT模試③FB		
12	N1 p26,27 p46,47 p76,77	N3 p26,27 p46,47 p84,85	
13	N1 p28,29 p48,49 p78,79	N3 p28,29 p48,49 p86,87	
15	定期試験FB		
16	N1 p30,31 p52,53 p82,83	N3 p30,31 p50,51 p88,89	
17	JLPT模試①		
18	JLPT模試①FB		
19	JLPT模試②		
20	JLPT模試②FB		
21	JLPT模試③		
22	JLPT模試③FB		
23	N1 p32,33 p52,53 p82,83	N3 p32,33 p52,53 p90,91	
24	N1 p34,35 p54,55 p84,85	N3 p34,35 p54,55 p94,95	
25	N1 p16,17 p36,37 p86,87	N3 p56,57 p62,63 p94,95	
26	N1 p18,19 p38,39 p88,89	N3 p58,59 p64,65 p96,97	
28	定期試験FB		
29	N1 p20,21 p40,41 p90,91	N3 p60,61 p99,100 p146,147	
30	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	「JLPT N1 ベスト総合問題集」 「JLPT N3 ベスト総合問題集」		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	梅山 みどり	講義	水曜3限
実務経験のある教員等による指導		12単位 192時間	全31回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	p8,9 p10,11		
2	p12,13 p114,15		
3	p16,17 p2021		
4	p22,23 p24,25		
5	p26,27 p28,29		
6	JLPT模試①FB		
7	p30,31 p32,33		
8	JLPT模試②FB		
9	p34,35 p36,37		
10	p38,39 p40,41		
11	JLPT模試③FB		
12	p44,45 p46,47		
13	p48,49 p50,51		
14	定期試験FB		
15	p52,53 p56,57		
16	p58,59 p60,61		
17	p62,63 p64,65		
18	JLPT模試①FB		
19	p68,69 p70,71		
20	p72,73 p74,75		
21	JLPT模試②FB		
22	p76,77 p8,9		
23	p10,11 p12,13		
24	JLPT模試③FB		
25	p14,15 p16,17		
26	p20,21 p22,23		
27	p24,25 p26,27		
28	p28,29 p32,33		
29	定期試験FB		
30	p34,35 p36,37		
31	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	「日本語パワードリル N2 文法」		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	上野 綾子、欽農 美智子	講義	水曜3限
実務経験のある教員等による指導		12単位 192時間	全31回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	『とりあえず』第1回 文の文法1		
2	『とりあえず』第1回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第1回 文の文法1		
3	『とりあえず』第2回 文の文法1、『パワードリル』第1回 文の文法2、文章の文法		
4	『とりあえず』第2回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第2回 文の文法1		
5	『とりあえず』第3回 文章の文法1、『パワードリル』第2回 文の文法2、文章の文法		
6	JLPT模試①FB		
7	『とりあえず』第3回 文章の文法2、文章の文法、『パワードリル』第3回 文の文法1		
8	JLPT模試②FB		
9	『とりあえず』第4回 文の文法1、『パワードリル』第3回 文の文法2、文章の文法		
10	『とりあえず』第4回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第4回 文の文法1		
11	JLPT模試③FB		
12	『とりあえず』第5回 文の文法1、『パワードリル』第4回 文の文法2、文章の文法		
13	『とりあえず』第5回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第5回 文の文法1		
14	定期試験FB		
15	『とりあえず』第6回 文の文法1、『パワードリル』第5回 文の文法2、文章の文法		
16	『とりあえず』第6回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第6回 文の文法1		
17	『とりあえず』第7回 文の文法1、『パワードリル』第6回 文の文法2、文章の文法		
18	JLPT模試①FB		
19	『とりあえず』第7回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第7回 文の文法1		
20	『とりあえず』第8回 文の文法1、『パワードリル』第7回 文の文法2、文章の文法		
21	JLPT模試②FB		
22	『とりあえず』第8回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第8回 文の文法1		
23	『とりあえず』第9回 文の文法1、『パワードリル』第8回 文の文法2、文章の文法		
24	JLPT模試③FB		
25	『とりあえず』第9回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第9回 文の文法1		
26	『とりあえず』第10回 文の文法1、『パワードリル』第9回 文の文法2、文章の文法		
27	『とりあえず』第10回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第10回 文の文法1		
28	『パワードリル』第10回 文の文法2、文章の文法、第11回 文の文法1		
29	定期試験FB		
30	『パワードリル』第11回 文の文法2、文章の文法、第12回 文の文法1		
31	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	『とりあえず日本語能力試験対策文法N3』（株式会社シナノパブリッシングプレス） 『日本語能力試験対策日本語パワードリルN3文法』（株式会社広済堂ネクスト）		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	吉村 萌	講義	水曜3限
実務経験のある教員等による指導		12単位 192時間	全31回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	第1回 文法1		
2	第1回 文法2、文章の文法		
3	第2回 文法1、日本語パワードリル①		
4	第2回 文法2、文章の文法		
5	第3回 文法1、日本語パワードリル②		
6	JLPT模試①FB		
7	第3回 文法2、文章の文法		
8	JLPT模試②FB		
9	第4回 文法1、日本語パワードリル③		
10	第4回 文法2、文章の文法		
11	JLPT模試③FB		
12	第5回 文法1、日本語パワードリル④		
13	第5回 文法2、テスト前復習		
14	定期試験FB		
15	日本語パワードリル「集中トレーニング」②		
16	第6回 文法1、日本語パワードリル⑤		
17	第6回 文法2、文章の文法		
18	JLPT模試①FB		
19	第7回 文法1、日本語パワードリル⑥		
20	第7回 文法2、文章の文法		
21	JLPT模試②FB		
22	第8回 文法1、日本語パワードリル⑦		
23	第8回 文法2、文章の文法		
24	JLPT模試③FB		
25	第9回 文法1、日本語パワードリル⑧		
26	第9回 文法2、文章の文法		
27	第10回 文法1、日本語パワードリル⑨		
28	第10回 文法2、文章の文法		
29	定期試験FB		
30	日本語パワードリル「集中トレーニング」③		
31	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	『とりあえず日本語能力試験対策N1』（ココ出版） 『日本語パワードリルN1文法』（アスク出版）		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	吉村 萌	講義	木曜4限
実務経験のある教員等による指導		12単位 192時間	全31回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	第1回模試問題	文字語彙①	
2	第1回模試問題	文字語彙②、文法①	
3	第1回模試問題	文法②、読解①	
4	第1回模試問題	文法③、読解②	
5	第1回模試問題	読解③	
6	第1回模試問題	読解④、聴解①	
7	第1回模試問題	聴解②	
8	第1回模試問題	聴解③	
9	第1回模試問題	聴解④、復習	
10	第2回模試問題	文字語彙①	
11	第2回模試問題	文字語彙②、文法①	
12	第2回模試問題	文法②、読解①	
13	第2回模試問題	文法③、読解②	
14	第2回模試問題	読解③、復習	
15	定期試験FB		
16	第2回模試問題	読解④	
17	第2回模試問題	聴解①	
18	第2回模試問題	聴解②	
19	第2回模試問題	聴解③	
20	第3回模試問題	文字語彙①	
21	第3回模試問題	文字語彙②、文法①	
22	第3回模試問題	文法②、読解①	
23	第3回模試問題	文法③、読解②	
24	第3回模試問題	読解③	
25	第3回模試問題	読解④、聴解①	
26	第3回模試問題	聴解②	
27	第3回模試問題	聴解③	
28	第3回模試問題	聴解④、復習	
29	定期試験FB		
30	活動		
31	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	『はじめての日本語能力試験N2合格模試』（アスク出版）		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	欽農 美智子	講義	木曜4限
実務経験のある教員等による指導		12単位 192時間	全31回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	N1：第1回問題 N3：第1回問題		
2	N1：第1回問題 N3：第1回問題		
3	N1：第1回問題 N3：第1回問題		
4	N1：第1回問題 N3：第1回問題		
5	N1：第1回問題 N3：第1回問題		
6	N1：第1回問題 N3：第1回問題		
7	N1：第2回問題 N3：第2回問題		
8	N1：第2回問題 N3：第2回問題		
9	N1：第2回問題 N3：第2回問題		
10	N1：第2回問題 N3：第2回問題		
11	N1：第2回問題 N3：第2回問題		
12	N1：第2回問題 N3：第2回問題		
13	N1：第2回問題 N3：第2回問題		
14	定期試験前復習		
15	定期試験FB		
16	N1：第3回問題 N3：第3回問題		
17	N1：第3回問題 N3：第3回問題		
18	N1：第3回問題 N3：第3回問題		
19	N1：第3回問題 N3：第3回問題		
20	N1：第3回問題 N3：第3回問題		
21	N1：第3回問題 N3：第3回問題		
22	N1：第3回問題 N3：第3回問題		
23	N1：第3回問題 N3：第3回問題		
24	苦手項目などを抜粋して繰り返し問題を解く		
25	苦手項目などを抜粋して繰り返し問題を解く		
26	苦手項目などを抜粋して繰り返し問題を解く		
27	苦手項目などを抜粋して繰り返し問題を解く		
28	苦手項目などを抜粋して繰り返し問題を解く		
29	定期試験FB		
30	総復習		
31	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	<p>「はじめての日本語能力試験（アスク）」</p> <p>「はじめての日本語能力試験 合格模試N3」（アスク）」</p>		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	鎌農 美智子	講義	金曜3限
実務経験のある教員等による指導		12単位 192時間	全30回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	N1：第1回 N3：第1回 ※聴解は不定期で実施する		
2	N1：第1回 N3：第1回		
3	JLPT模試①		
4	JLPT模試①FB		
5	JLPT模試①FB		
6	JLPT模試②		
7	JLPT模試②FB		
8	JLPT模試②FB		
9	JLPT模試③		
10	JLPT模試③FB		
11	JLPT模試③FB		
12	N1：第2回 N3：第2回		
13	N1：第3回 N3：第3回		
14	定期試験FB		
15	N1：第4回 N3：第4回		
16	JLPT模試①		
17	JLPT模試①FB		
18	JLPT模試①FB		
19	JLPT模試②		
20	JLPT模試②FB		
21	JLPT模試②FB		
22	JLPT模試③		
23	JLPT模試③FB		
24	JLPT模試③FB		
25	模試で点数が取れない問題を中心に解く		
26	模試で点数が取れない問題を中心に解く		
27	模試で点数が取れない問題を中心に解く		
28	定期試験FB		
29	復習		
30	総復習		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	<p>「とりあえず日本語能力試験対策 N1 文字・語彙」（ココ出版）「ドリル&ドリルN1聴解・読解」（ユニコム）</p> <p>「とりあえず日本語能力試験対策 N3 文字・語彙」（ココ出版）「ドリル&ドリルN3聴解・読解」（ユニコム）</p>		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	永村 洋藤	講義	金曜3限
実務経験のある教員等による指導		12単位 192時間	全30回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	課題理解 第1回		
2	課題理解 第2回		
3	課題理解 第3回		
4	課題理解 第4回		
5	課題理解 第5回		
6	ポイント理解 第1回		
7	ポイント理解 第2回		
8	ポイント理解 第3回		
9	ポイント理解 第4回		
10	ポイント理解 第5回		
11	概要理解 第1回		
12	概要理解 第2回		
13	概要理解 第3回		
14	定期試験FB		
15	概要理解 第4回		
16	概要理解 第5回		
17	即時応答 第1回		
18	即時応答 第2回		
19	即時応答 第3回		
20	即時応答 第4回		
21	即時応答 第5回		
22	統合理解 第1回		
23	統合理解 第2回		
24	統合理解 第3回		
25	統合理解 第4回		
26	統合理解 第5回		
27	復習		
28	定期試験FB		
29	復習		
30	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	ドリル&ドリル日本語能力試験N2聴解、読解		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	吉村 萌	講義	金曜4限
実務経験のある教員等による指導		12単位 192時間	全30回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	読み方のポイント1「接続の表現1」		
2	読み方のポイント2「接続の表現2」		
3	JLPT模試①		
4	JLPT模試①FB		
5	JLPT模試①FB		
6	JLPT模試②		
7	JLPT模試②FB		
8	JLPT模試②FB		
9	JLPT模試③		
10	JLPT模試③FB		
11	JLPT模試③FB		
12	読み方のポイント3「指示詞」		
13	読み方のポイント4「主語などの省略」、復習		
14	定期試験FB		
15	読み方のポイント5「理由」		
16	JLPT模試①		
17	JLPT模試①FB		
18	JLPT模試①FB		
19	JLPT模試②		
20	JLPT模試②FB		
21	JLPT模試②FB		
22	JLPT模試③		
23	JLPT模試③FB		
24	JLPT模試③FB		
25	いろいろなタイプの文章「メール・メモ・お知らせ」		
26	いろいろなタイプの文章「意見文」		
27	いろいろなタイプの文章「長文と情報検索」		
28	定期試験FB		
29	いろいろなタイプの文章「説明文」		
30	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	『JLPT読解N3ポイント&プラクティス』（スリーエーネットワーク）		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	鎌農 美智子	講義	金曜4限
実務経験のある教員等による指導		12単位 192時間	全30回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	第1回		
2	第1回		
3	JLPT模試①		
4	JLPT模試①FB		
5	JLPT模試①FB		
6	JLPT模試②		
7	JLPT模試②FB		
8	JLPT模試②FB		
9	JLPT模試③		
10	JLPT模試③FB		
11	JLPT模試③FB		
12	第2回		
13	第2回		
14	定期試験FB		
15	第3回		
16	JLPT模試①		
17	JLPT模試①FB		
18	JLPT模試①FB		
19	JLPT模試②		
20	JLPT模試②FB		
21	JLPT模試②FB		
22	JLPT模試③		
23	JLPT模試③FB		
24	JLPT模試③FB		
25	第3回		
26	第4回		
27	第4回		
28	定期試験FB		
29	第5回		
30	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	「とりあえず日本語能力試験対策 読解N1」（ココ出版）		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	上野 綾子	講義	金曜4限
実務経験のある教員等による指導		12単位 192時間	全30回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	読解 第1回 短文、中文、統合理解		
2	読解 第1回 長文、情報検索		
3	JLPT模試①		
4	JLPT模試①FB		
5	JLPT模試①FB		
6	JLPT模試②		
7	JLPT模試②FB		
8	JLPT模試②FB		
9	JLPT模試③		
10	JLPT模試③FB		
11	JLPT模試③FB		
12	読解 第1回 短文、中文残り～		
13	復習		
14	定期試験FB		
15	活動		
16	JLPT模試①		
17	JLPT模試①FB		
18	JLPT模試①FB		
19	JLPT模試②		
20	JLPT模試②FB		
21	JLPT模試②FB		
22	JLPT模試③		
23	JLPT模試③FB		
24	JLPT模試③FB		
25	読解 第2回 短文、中文、統合理解		
26	読解 第2回 長文、情報検索		
27	復習		
28	定期試験FB		
29	活動		
30	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	『とりあえず日本語能力試験対策N2 読解』（ココ出版）		

科目名	ビジネス日本語Ⅰ	国際科	1年通年
講師	畷農 美智子	講義	金曜5限
実務経験のある教員等による指導		2単位 32時間	全30回
科目概要	仕事をするうえで役に立つ日本語表現を学ぶ。ロールプレイを通して敬語を正しく使えるようになるなど、実際の現場で使われる表現や日本語の知識を習得することを目標とする。		
到達目標	実際に働く際に役立つ日本語の知識を習得することを目標とする。		
授業計画			
1	第1課 紹介する		
2	第1課 紹介する		
3	第1課 紹介する		
4	第1課 紹介する		
5	第2課 挨拶をする		
6	第2課 挨拶をする		
7	第2課 挨拶をする		
8	第2課 挨拶をする		
9	第3課 電話をかける・受ける		
10	第3課 電話をかける・受ける		
11	第3課 電話をかける・受ける		
12	第3課 電話をかける・受ける		
13	第3課 電話をかける・受ける		
14	試験前復習		
15	定期試験FB		
16	第4課 注意をする・注意を受ける		
17	第4課 注意をする・注意を受ける		
18	第4課 注意をする・注意を受ける		
19	第4課 注意をする・注意を受ける		
20	第5課 頼む・断る		
21	第5課 頼む・断る		
22	第5課 頼む・断る		
23	第5課 頼む・断る		
24	第6課 許可をもらう		
25	第6課 許可をもらう		
26	第6課 許可をもらう		
27	第6課 許可をもらう		
28	試験前復習		
29	定期試験FB		
30	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	「にほんごで働く！ビジネス日本語30時間」（スリーエーネットワーク）		

科目名	日本事情Ⅰ	国際科	1年通年
講師	鎌農 美智子	講義	火曜2限
実務経験のある教員等による指導		2単位 32時間	全30回
科目概要	マンガを読んで日本の会社で仕事をするうえで重要な事柄を解説し、理解を深めていく。		
到達目標	ビジネス日本語を実践的な場面でどう使うのか、職場の人たちとのコミュニケーションが円滑にできるようになる。		
授業計画			
1	主要登場人物の解説 1. そこまで正直でなくても…		
2	1. そこまで正直でなくても…		
3	2. ほうれんそうの前に確認を！		
4	2. ほうれんそうの前に確認を！		
5	3. 待つ身になってみないとね…。		
6	3. 待つ身になってみないとね…。		
7	4. 書き出しが肝心なのです。		
8	4. 書き出しが肝心なのです。		
9	5. 何を聞きたいかを、最初にね。		
10	5. 何を聞きたいかを、最初にね。		
11	6. その呼び方、ちょっと待った！		
12	試験前復習		
13	定期試験FB		
14	7. 電話はメモする習慣をつけて		
15	8. 4時と14時は大違い		
16	9. だから、順番は大切なんですって！		
17	10. 有給休暇！心奪われる響きだけれど。		
18	11. あれ？みんな、まだ帰らないの？		
19	12. スケジュール管理はしっかりと。		
20	13. そこはちょっと思い切って！		
21	14. 大事なのは日時とテーマ		
22	15. 最初のひと言が肝心！		
23	16. いくら地図が苦手でも…。		
24	17. 何を話せばいいのかな？		
25	18. ほうれんそうは社外にも。		
26	復習		
27	定期試験FB		
28	抜粋		
29	抜粋		
30	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	「マンガで体験！ にっぽんのカイシャ」（財）日本漢字能力検定協会		

科目名	日本語レベルアップ	国際科	1年通年
講師	宮本 ひとみ	講義	木曜5限
実務経験のある教員等による指導		2単位 32時間	全30回
科目概要	4技能のうち「話す」「書く」を中心に自ら発信する力を伸ばす。		
到達目標	ビジネスの場で実際に運用できる日本語の習得を目指す。		
授業計画			
1	実践ビジネス日本語会話【中級1】第1課		
2	実践ビジネス日本語会話【中級1】第1課		
3	実践ビジネス日本語会話【中級1】第1課		
4	実践ビジネス日本語会話【中級1】第1課		
5	実践ビジネス日本語会話【中級1】第2課		
6	実践ビジネス日本語会話【中級1】第2課		
7	実践ビジネス日本語会話【中級1】第2課		
8	実践ビジネス日本語会話【中級1】第2課		
9	日本語プロフィシエンシーライティング 1課		
10	日本語プロフィシエンシーライティング 1課		
11	日本語プロフィシエンシーライティング 1課 <練習しましょう>		
12	日本語プロフィシエンシーライティング 1課 <チャレンジ問題>		
13	日本語プロフィシエンシーライティング 2課		
14	日本語プロフィシエンシーライティング 2課		
15	日本語プロフィシエンシーライティング 2課 <練習しましょう>		
16	定期試験FB		
17	日本語プロフィシエンシーライティング 2課 <チャレンジ問題>		
18	実践ビジネス日本語会話【中級1】第3課		
19	実践ビジネス日本語会話【中級1】第3課		
20	実践ビジネス日本語会話【中級1】第3課		
21	実践ビジネス日本語会話【中級1】第3課		
22	実践ビジネス日本語会話【中級1】第4課		
23	実践ビジネス日本語会話【中級1】第4課		
24	実践ビジネス日本語会話【中級1】第4課		
25	実践ビジネス日本語会話【中級1】第4課		
26	日本語プロフィシエンシーライティング 2課		
27	日本語プロフィシエンシーライティング 2課		
28	日本語プロフィシエンシーライティング 2課 <練習しましょう>		
29	定期試験FB		
30	実践ビジネス日本語会話総復習		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	『実践ビジネス日本語会話【中級1】』（スリーエーネットワーク） 『日本語プロフィシエンシーライティング』（凡人社）		

科目名	通訳入門	国際科	1年通年
講師	上野 綾子	講義	木曜2限
実務経験のある教員等による指導		4単位 64時間	全31回
科目概要	通訳を行う上で、大切になる「シャドーイング」、「要約」等の「基本」の練習を行い、通訳者としての基礎を作ることを目標とする。1年次に土台をしっかりと作っておくことで2年次への橋渡しができる。通訳者になるための初めの一步を学ぶ。		
到達目標	通訳者としての基礎を作ることを目標とする。		
授業計画			
1	『スピードマスター』(unit 1 ⑦、⑧、⑩、⑪、⑫) 単文訳、ディクテーション 『生中継』 LESSON 1 ②、⑤ 内容確認		
2	『スピードマスター』(unit 1 ⑬～⑰) 単文訳など 『生中継』 LESSON 1 【聞き取り練習Ⅱ】②、【ポイントリスニング】内容確認		
3	『スピードマスター』(unit 1 ⑱、⑲、⑳、㉑、㉒) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 LESSON 1 【重要表現】②、③ 内容確認		
4	『スピードマスター』(unit 1 ㉓、㉔～㉖) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 LESSON 1 ■伝言を申し出る②～④ 内容確認		
5	『スピードマスター』(unit 1 ㉗、㉘、㉙～㉚) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 LESSON 1 ■伝言を頼む②～④ 内容確認		
6	復習		
7	『スピードマスター』(unit 1 ㉛～㉝、㉞、㉟) 単文訳など 『生中継』 LESSON 2 【聞き取り練習Ⅰ】②、【聞き取り練習Ⅱ】③ 内容確認		
8	『スピードマスター』(unit 1 ㊱、52～57) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 LESSON 2 【ポイントリスニング】会話の想像		
9	『スピードマスター』(unit 1 58～64) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 【重要表現】■誘う③、■誘いを受ける④ 内容確認		
10	『スピードマスター』(unit 2 ①、② unit 3 ③、④、⑤) 単文訳など 『生中継』 ■誘いを断る④ ■返事を保留する③、④ 内容確認		
11	『スピードマスター』(unit 3 ⑥、⑦、⑧、⑨、⑩) 単文訳など 『生中継』 LESSON 3 【聞き取り練習Ⅰ】②、③ 内容確認		
12	『スピードマスター』(unit 4 ①～③、④、⑤) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 LESSON 3 【聞き取り練習Ⅰ】③ 続き 内容確認		
13	『スピードマスター』(unit 4 ⑥、⑦～⑨、⑩) 単文訳など 『生中継』 LESSON 3 ■許可を求める③、B.条件付きで許可する④、■許可をしない③ 内容確認		
14	復習		
15	定期試験FB		
16	前期のまとめ		
17	『スピードマスター』(unit 4 ⑪～⑬) 単文訳など 『生中継』 LESSON 4 【聞き取り練習Ⅰ】④、【聞き取り練習Ⅱ】③ 内容確認		
18	『スピードマスター』(unit 4 ⑭、⑮、⑯～⑰) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 LESSON 4 【ポイントリスニング】会話の想像		
19	『スピードマスター』(unit 4 ⑱～㉑) 単文訳など 『生中継』 LESSON 4 【重要表現】■他から～③ ■自分で～③ ■確かな情報～①a、b) 内容確認		
20	『スピードマスター』(unit 4 ㉒～53) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 LESSON 5 【聞き取り練習Ⅰ】①、② 内容確認		
21	『スピードマスター』(unit 4 54～58) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 LESSON 5 【ポイントリスニング】会話の想像		
22	『スピードマスター』(unit 4 59～63) 単文訳など 『生中継』 LESSON 5 【重要表現】■A.依頼をする④～⑥ ■B.前置き～②、④ 内容把握		
23	『スピードマスター』(unit 4 64～69) 単文訳など 『生中継』 LESSON 5 【重要表現】■依頼を引き受ける A.依頼を～④ ■依頼を断る A.依頼を～③ 内容把握		
24	『スピードマスター』(unit 6 ①～③、④、⑤) 単文訳など 『生中継』 LESSON 5 【重要表現】■依頼を断る B.依頼を～② ■指示する 内容把握		
25	ニュース記事要約練習①		
26	ニュース記事要約練習②		
27	復習		
28	定期試験FB		
29	活動		
30	活動		
31	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	『日本語単語スピードマスター-STANDARD2400』（Jリサーチ出版） 『新版 聞いて覚える話し方 日本語生中継 中～上級』（くろしお出版）		

科目名	通訳入門	国際科	1年通年
講師	Tran Ngoc Trinh	講義	金曜1限
実務経験のある教員等による指導		4単位 64時間	全30回
科目概要	通訳を行う上で、大切になる「シャドーイング」、「要約」等の「基本」の練習を行い、通訳者としての基礎を作ることを目標とする。1年次に土台をしっかりと作っておくことで2年次への橋渡しができる。通訳者になるための初めの一步を学ぶ。		
到達目標	通訳者としての基礎を作ることを目標とする。		
授業計画			
1	『スピードマスター』(unit 1 ⑦、⑧、⑩、⑪、⑫) 単文訳、ディクテーション 『生中継』 LESSON 1 ②、⑤ 内容確認・ベトナム語訳		
2	『スピードマスター』(unit 1 ⑬～⑰) 単文訳など 『生中継』 LESSON 1 【聞き取り練習Ⅱ】②、【ポイントリスニング】内容確認・ベトナム語訳		
3	『スピードマスター』(unit 1 ⑱、⑲、⑳、㉑、㉒) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 LESSON 1 【重要表現】②、③ 内容確認・ベトナム語訳		
4	『スピードマスター』(unit 1 ㉓、㉔～㉕) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 LESSON 1 ■伝言を申し出る②～④ 内容確認・ベトナム語訳		
5	『スピードマスター』(unit 1 ㉖、㉗、㉘～㉙) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 LESSON 1 ■伝言を頼む②～④ 内容確認・ベトナム語訳		
6	復習		
7	『スピードマスター』(unit 1 ㉚～㉛、㉜、㉝) 単文訳など 『生中継』 LESSON 2 【聞き取り練習Ⅰ】②、【聞き取り練習Ⅱ】③ 内容確認・ベトナム語訳		
8	『スピードマスター』(unit 1 ㉞、52～57) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 LESSON 2 【ポイントリスニング】会話の想像・ベトナム語訳		
9	『スピードマスター』(unit 1 58～64) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 【重要表現】■誘う③、■誘いを受ける④ 内容確認・ベトナム語訳		
10	『スピードマスター』(unit 2 ①、② unit 3 ⑨、⑩、⑪、⑫) 単文訳など 『生中継』 ■誘いを断る④ ■返事を保留する③、④ 内容確認・ベトナム語訳		
11	『スピードマスター』(unit 3 ⑬、⑭、⑮、⑯、⑰) 単文訳など 『生中継』 LESSON 3 【聞き取り練習Ⅰ】②、③ 内容確認・ベトナム語訳		
12	『スピードマスター』(unit 4 ①～③、⑧、⑯) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 LESSON 3 【聞き取り練習Ⅰ】③ 続き 内容確認・ベトナム語訳		
13	『スピードマスター』(unit 4 ⑱、㉑～㉒、㉓) 単文訳など 『生中継』 LESSON 3 ■許可を求める③、B.条件付きで許可する④、■許可をしない③ 内容確認・ベトナム語訳		
14	復習		
15	定期試験FB		
16	前期のまとめ		
17	『スピードマスター』(unit 4 ㉔～㉕) 単文訳など 『生中継』 LESSON 4 【聞き取り練習Ⅰ】④、【聞き取り練習Ⅱ】③ 内容確認・ベトナム語訳		
18	『スピードマスター』(unit 4 ㉖、㉗、㉘～㉙) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 LESSON 4 【ポイントリスニング】会話の想像・ベトナム語訳		
19	『スピードマスター』(unit 4 ㉚～㉛) 単文訳など 『生中継』 LESSON 4 【重要表現】■他から～③ ■自分で～③ ■確かな情報～①a)、b) 内容確認・ベトナム語訳		
20	『スピードマスター』(unit 4 ㉜～㉝) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 LESSON 5 【聞き取り練習Ⅰ】①、② 内容確認・ベトナム語訳		
21	『スピードマスター』(unit 4 ㉞～㉟) 単文訳、ディクテーションなど 『生中継』 LESSON 5 【ポイントリスニング】会話の想像・ベトナム語訳		
22	『スピードマスター』(unit 4 ㊱～㊲) 単文訳など 『生中継』 LESSON 5 【重要表現】■A.依頼をする④～⑥ ■B.前置き～②、④ 内容把握・ベトナム語訳		
23	『スピードマスター』(unit 4 ㊳～㊴) 単文訳など 『生中継』 LESSON 5 【重要表現】■依頼を引き受ける A.依頼を～④ ■依頼を断る A.依頼を～③ 内容把握・ベトナム語訳		
24	『スピードマスター』(unit 6 ①～③、⑤、⑩) 単文訳など 『生中継』 LESSON 5 【重要表現】■依頼を断る B.依頼を～② ■指示する 内容把握・ベトナム語訳		
25	ニュース記事要約練習①		
26	ニュース記事要約練習②		
27	復習		
28	定期試験FB		
29	活動		
30	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	『日本語単語スピードマスターSTANDARD2400』（Jリサーチ出版） 『新版 聞いて覚える話し方 日本語生中継 中～上級』（くろしお出版）		

科目名	通訳入門	国際科	1年通年
講師	松本 真夕	講義	金曜1限
実務経験のある教員等による指導		4単位 64時間	全30回
科目概要	英検4級の文法を理解し使えて、それを日本語でも言えるように力をつける。		
到達目標	英検4級程度の英語を自然な日本語に通訳、または翻訳することを目標とする。		
授業計画			
1	英検5級の基礎的な文法と語彙の確認		
2	英検5級の基礎的な文法と語彙の確認		
3	基本的な動詞		
4	動詞+名詞		
5	have,take使い方		
6	よく出る名詞		
7	時を表す語		
8	人を表す形容詞		
9	go,get,come熟語		
10	have,take,look熟語		
11	そのほかの動詞熟語		
12	形容詞の熟語		
13	試験前復習		
14	定期試験FB		
15	時と場所を表す語		
16	過去文		
17	BE動詞過去		
18	未来文		
19	しなければならないの文		
20	不定詞・動名詞		
21	比較		
22	存在・、命令文		
23	許可・依頼文		
24	勧める・誘う表現		
25	提案の表現		
26	whatの疑問文		
27	試験前復習		
28	定期試験FB		
29	まとめ		
30	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	英検4級をひとつひとつわかりやすく		

科目名	IT観光ビジネスⅠ	国際科	1年通年
講師	稲継 香	講義	水曜5限
実務経験のある教員等による指導	ホテルに就職したい人や観光産業に従事したい人が即実践に役立てるよう必要となるスキルを身につけます。	2単位 32時間	全31回
科目概要	まず、観光とは何か、観光がもたらす様々な効果について学びます。その後、観光資源と観光対象、観光のしくみについてを学習します。		
到達目標	観光を学ぶ意義について学び、日本語で観光に関する言葉と意味を確実に覚え、理解し、観光の様々な効果についてさらに理解を深めます。		
授業計画			
1	現代社会と観光		
2	観光を学ぶ意義		
3	観光が人間にもたらす効果		
4	観光が企業にもたらす効果		
5	観光が地域にもたらす効果や影響		
6	観光に関わる言葉 ・旅と旅行		
7	観光に関わる言葉 ・観光		
8	観光に関わる言葉 ・余暇		
9	観光に関わる言葉 ・レクリエーション		
10	観光に関わる言葉 ・ホスピタリティー		
11	観光のしくみ 観光を構成する要素		
12	観光のしくみ 観光事業の意味としくみ		
13	熊本県の観光地理		
14	熊本県の観光地理		
15	定期試験FB		
16	「観光資源」の意味		
17	「観光資源」の意味		
18	観光資源と観光対象		
19	観光資源と観光対象		
20	観光対象の特徴		
21	観光対象の特徴		
22	観光産業の定義と種類		
23	観光産業の定義と種類		
24	観光産業・観光ビジネスの特徴		
25	観光産業・観光ビジネスの特徴		
26	ピックアップした観光産業の構成と特徴について検証		
27	ピックアップした観光産業の構成と特徴について検証		
28	ピックアップした観光産業の構成と特徴について検証		
29	ピックアップした観光産業の構成と特徴についてプレゼンテーション		
30	定期試験FB		
31	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	観光学基礎		

科目名	ホテル&ビジネスⅠ	国際科	1年通年
講師	稲継 香	講義	火曜4限
実務経験のある教員等による指導	旅行業で得た豊富な知識を活かし、ホテルに就職したい人や観光産業に従事したい人が即実践に役立てるように必要となるスキルを身につけます。	2単位 32時間	全30回
科目概要	日本の旅館・ホテルの代表的な特徴を学び「日本の観光ビジネス・日本のおもてなし」の理解を深めます。		
到達目標	日本特有のおもてなし文化を理解し、シーンに合わせた心づかいの大切さや、文化や風習の違う海外からのお客様をおもてなしする知識を身に付けます。		
授業計画			
1	日本の観光ビジネスの概要 訪日外国人旅行者の推移、ビジット・ジャパン・キャンペーン		
2	日本の観光ビジネスの概要 増え続けているアジアからの旅行者、国際観光客 今後の予測		
3	日本の観光ビジネスの概要 観光客・宿泊者の傾向 観光客のニーズの変化		
4	日本の観光ビジネスの概要 「国内宿泊旅行」と「国内日帰り旅行」の比較 日本人旅行者と外国人旅行者		
5	日本の観光ビジネスの概要 集客方法・販売チャネルの変化 情報収集ツールの変化		
6	日本の宿泊施設の種類 旅館とホテルの特徴		
7	日本の宿泊施設の種類 旅館とホテルのサービスの特徴		
8	日本の宿泊施設の種類 旅館のタイプ		
9	日本の宿泊施設の種類 ホテルのタイプ		
10	日本の宿泊施設の種類 求められるスタッフのスキル		
11	日本の宿泊施設の種類 利用客のニーズ		
12	日本の宿泊施設の種類 法律と定員		
13	日本の宿泊施設の種類 知っておくべきプロトコール		
14	定期試験FB		
15	日本の宿泊施設の種類 無形文化遺産「和食」		
16	日本の宿泊施設の種類 「箸」の文化 日本料理と器		
17	日本の宿泊施設の種類 訪日外国人旅行者への配慮		
18	日本の宿泊施設の種類 訪日外国人旅行者が旅行中に困ったこと		
19	組織とスタッフの業務 旅館・ホテルの組織		
20	組織とスタッフの業務 旅館・ホテルのキャリアマップ		
21	組織とスタッフの業務 旅館の仕事		
22	組織とスタッフの業務 ホテルの仕事		
23	組織とスタッフの業務 接遇マナー・言葉づかい		
24	組織とスタッフの業務 TPOとは		
25	組織とスタッフの業務 予約の受け方・対応するうえで大切なこと		
26	組織とスタッフの業務 アレルギー対応・食べられない食材への対応		
27	定期試験FB		
28	組織とスタッフの業務 お身体が不自由なお客様への対応		
29	組織とスタッフの業務 ホスピタリティとサービス		
30	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	旅館ホテル・観光の教科書		

科目名	企業研究	国際科	1年通年
講師	上野 綾子	講義	火曜 5限
実務経験のある教員等による指導		2単位 32時間	全32回
科目概要	企業研究や実際に企業の方の話を聞くことで、「働く」ということを具体的にイメージする。また、インターンシップを経験することで、社会人としての自覚も芽生える。自分に合う仕事を見つけることができる。		
到達目標	「働く」ということを具体的にイメージし、自分に合う仕事を見つけることができる。		
授業計画			
1	業界・業種・職種とは 「2. 仕事を決めよう！」 step 1		
2	業界・業種・職種とは 「2. 仕事を決めよう！」 step 2 問題 1		
3	業界・業種・職種とは 「2. 仕事を決めよう！」 step 2 問題 2		
4	業界・業種・職種とは 「2. 仕事を決めよう！」 step 2 問題 3		
5	業界・業種・職種とは 「2. 仕事を決めよう！」 これまでの復習		
6	興味があるものとは (マインドマップ)		
7	興味があるものとは (マインドマップ)		
8	観光施設について知る		
9	観光施設見学 グループ		
10	OGによる講話		
11	ホテル見学		
12	夏休み実施研修旅行FB		
13	夏休み実施研修旅行FB		
14	定期試験FB		
15	インターンシップについて考える		
16	OBによる講話		
17	企業研究とは 興味のある企業について調べる① 「2. 仕事を決めよう！」 step 2 の復習		
18	企業研究とは 興味のある企業について調べる② 「2. 仕事を決めよう！」 step 2 問題 4		
19	企業研究とは 興味のある企業について調べる③ 「2. 仕事を決めよう！」 step 2 問題 4		
20	企業研究とは 興味のある企業について調べる③ 「2. 仕事を決めよう！」 step 3 問題 1 ①		
21	企業研究とは 興味のある企業について調べる③ 「2. 仕事を決めよう！」 step 3 問題 1 ②		
22	企業研究とは 興味のある企業について調べる③ 「2. 仕事を決めよう！」 step 3 問題 2		
23	候補先を絞る		
24	候補先を絞る		
25	候補先を絞る		
26	「4. 志望動機を考えよう！」 step 1 問題 1、2		
27	「4. 志望動機を考えよう！」 step 1 問題 3		
28	定期試験FB		
29	志望動機 実践		
30	志望動機 実践		
31	志望動機 実践		
32	活動		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	『解いて学ぼう 留学生の就職活動』（株式会社スリーエーネットワーク）		